



札土道第 72 号  
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 殿

札幌市長 上田 文雄



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

貴職におかれましては、日頃から本市道路行政に対してご指導、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 19 年 4 月 2 日付国道企第 1 1 4 号によりご依頼のありました標記の件につきまして別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお取り計らいお願いいたします。

## 今後の道路政策に関する札幌市の基本的な考え方

これまで札幌市は、急激な人口増加とそれに伴う都市化の進展に合わせて、計画的な市街地整備と、これに対応する骨格幹線道路ネットワークの整備を進めてきたところ、交通渋滞の緩和など改善方向にありますが、依然として取り組むべき課題も残されております。

平成 17 年度に実施した道路交通サービスについての市民アンケート調査では、「渋滞の解消」「公共交通の利便性向上」「安心安全な歩行空間の確保」などのニーズが高く、とりわけ除雪に関する要望が市政世論調査で 29 年連続して 1 位になるなど『冬期交通対策』については本市の最重要課題となっております。

このため札幌市では、こうした市民ニーズに対応していくため、バス路線等における堆雪幅の確保など冬期交通対策、都心の通過交通を抑制する環状道路や連携道路の整備など渋滞対策、橋梁の耐震補強など道路ストックの計画的な維持修繕、歩道バリアフリー化や交通事故対策など安心・安全なみちづくり、創成川通アンダーパス連続化や札幌駅前通地下歩行空間の整備など都市再生について重点的に取り組む必要があると考えております。

これらの施策を進めるにあたっては、市民参加と情報共有を基本に、政策の立案、実施、評価等の各段階において積極的な情報提供や市民ニーズの把握などに継続して取り組む必要があり、また、限られた予算で最大限の効果を発揮するため、道路のサービス水準の適正化や長寿命化に向けたアセットマネジメントの導入による長期的な維持管理システムの確立や、既存ストックの徹底的な利活用によってコストを縮減し、道路の整備・管理の効率化を図っていくことが重要と考えております。